

「情報の世界」（数理・データサイエンス・AI 教育プログラム）の自己点検について

1. 履修者数について

2023 年度における「情報の世界」の履修人数は、履修対象学生 3,301 名に対して 1,540 名（約 47%）であり、1,054 名（約 32%）が修了（単位修得）しました。最終的には 60%以上の学生が修了することを目標としていますので、その意味では不十分です。しかし、1 年次生 707 名より修了者数の方が多かったことを考慮すれば、今後も同様の履修者（修了者）数を維持することで、目標に到達できると考えます。

次年度も、学生ポータルサイトを活用して本プログラムの内容と目的を示し、また教育センターに所属する正科生 B（正科生の約 7 割）に対して説明することで、履修者および修了者を増やしていくことを計画しています。

2. 学修の到達目標達成度について

授業における学修の到達目標の達成度を試験により評価し、成績（GP）に反映しました。成績は、秀 375 名、優 456 名、良 182 名、可 41 名、不合格 9 名となり、試験を受けた履修者の 99%が単位を修得しました。秀と優の割合（約 78.8%）が高いことから、数理・データサイエンス・AI の基礎を身に付けた学生が多かったと考えます。また、この科目を通して、データサイエンスに興味を持たせることができたのではないかと推察します。なお、試験を受けずに履修を放棄した学生が 477 名いました。本学通信教育においては、時間が取れなかったなどの理由で履修を途中で放棄する学生が一定割合存在します。本科目の履修放棄者の割合は、他の科目と比べて高くはありませんが、適切ではないと考えており、最後まで履修するよう指導する予定です。

【授業における学修の到達目標】

- ・社会におけるデータ・AI の利活用に関連し、社会の動向、実際のデータ、活用領域、技術、を知る。
- ・データ・AI 利活用における留意事項（情報倫理など）について知る。
- ・データを読み、扱い、説明するというデータリテラシーを身に付ける。

3. 授業評価アンケートについて

授業評価アンケートで学生からの意見を収集し、教員が自己分析を行いました。学生の約 76%が満足と回答し、約 82%が目標としていた知識・技能を修得できたと回答しました。一部の学生からは、より詳細な説明を求める意見がありました。本科目は、扱う項目が多いために個々の内容が薄くなる傾向にありますが、可能な限り学生の興味に応えられるよう改善する予定です。